



平成18年2月28日(火)第48号

が★もっともきた

最北ねっと

THE MOTTOMO KITA NET VOL. 48



稚内海上保安部

〒097-0023 稚内市開運2丁目2番1号

TEL・FAX 0162-22-0118

E-MAIL wakkanai-kanri@kaiho.mlit.go.jp

ホームページ

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/wakkanai/>

海上保安庁長官

冬の稚内を視察

2月16日から17日の間、石川裕己(いしかわひろき)海上保安庁長官が稚内を訪れ、巡視艇による稚内港の視察や、稚内灯台などの関連施設を視察しました。

途中、猛吹雪に見舞われたり、航空機による流氷観測の予定が荒天により中止となるなど、宗谷の厳しい自然環境も体験されました。



大麻や空包の発見が相次ぐ!!

1月12日、稚内海上保安部では、税関支署、警察署と合同で、稚内港に着岸していた外国籍かに運搬船に対し船内検索を実施したところ、居住区の椅子の中から紙片に包まれた大麻を発見しました。また、1月30日稚内港に着岸したかに運搬船から空包が2発、1月31日にも紙片に包まれた若干量の大麻が発見されるなど、銃器薬物が相次いで発見されており、稚内海上保安部ではこれらの捜査を行なっています。



船内から発見された空包や大麻

人命救助で海上保安部長表彰



2月9日、稚内海上保安部では1月31日に発生した車両海中転落事故において、転落者を救助した漁船第172栄宝丸の漁労長 山谷文男(やまやふみお)さんに対し表彰を行いました。

山谷さんは、岸壁から海へ転落する車両を発見すると、直ちに寒気極まる海面から転落者を引揚げ、尊い人命を無事救助したものです。



冬のひと仕事 着氷除去作業

2月9日、稚内海上保安部所属の「巡視船れぶん」は、発達しながら通過した低気圧の影響が残る冬の厳しい日本海で海難救助の業務にあたり、船体に激しい波しぶきを繰り返し浴びて氷漬けになった状態で帰港しました。

スタンションチェーンが大人の腕ほどの太さに凍り付くことは珍しくないようです。これらの着氷は危険防止のため、乗組員の手作業によって除去されています。



着氷を除去する「れぶん」乗組員